

放射線管理計測講座の受講報告

共通機器部門 放射線管理技術班 笹谷 晋吾

1. はじめに（目的等）

放射線施設管理業務では人への被ばく線量をできるかぎり低く保つことが求められており、それぞれの施設に応じた最適な放射線（能）測定を実施し、被ばく線量を評価することが大切である。また今年 10 月に法令改正が予定されており、測定器の信頼性の確保に関して新たな対応が求められている。このためこれらに適切に対応するために幅広い測定技術の手法及び知識習得のため本講習を受講した。

2. 期間・場所

期間：令和 5 年 6 月 19 日（月）～6 月 23 日（金）

場所：公益財団法人 放射線計測協会（茨城県那珂郡東海村白方白根 2-4）

3. 参加者等

16 名

4. 研修内容

講習は 5 日間の日程で講義と実習からなり、講義では放射線測定の基礎となる各種放射線と物質の相互作用から現在の原子力及び放射線分野における法規制の現状について幅広く説明があった。また実習では講義の内容をもとに実際に各種測定器を用いて様々な場における測定を行い、放射線影響について評価を行った。

5. まとめと感想

今回の講習では実際に様々なシチュエーションで各種放射線測定器を用いて測定を行い、その評価方法について検討を行った。特に講義で学んだ測定手順を実際に自分で行うことで測定値の取り扱い等の注意点を体験し、適正に評価する方法を理解することが非常に有意義だった。また今年 10 月に法改正で追加される放射線測定器の信頼性への対応については他の事業所の対応も含め討論できたことがよかった。今後自分が業務派遣されている事業所において、今回の経験を活かし法改正に向けて取り組んでいきたいと思う。